

時間割コード	G1B3A101	開講年度	2026			
授業題目	ビジネスとマネジメント【EA】					担当教員 橋本 規之
英文授業名	Business & management					石橋 敬介・関 利恵子・藤野 義和・岩田 一哲
単位数	2	講義期間	後期(随時)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生 ShinXiaコース選択者が優先
講義室				授業形態	e-Learning 遠隔授業科目 該当	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	大学DP					
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	企業をはじめ組織における価値創造と持続可能性について理解し、説明することができるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム	ShinXiaコース(ShinXia)					
(4)授業の概要	・本授業では、ビジネスによる価値創造と持続可能性について、経営学の主な分野（マネジメント、マーケティング、イノベーション、人的資源管理、会計）の見方を通じてアプローチする方法を学びます。 ・授業は、分野別の5名の教員がリレー形式（1テーマ：3回）で行います。 ・本授業は、全ての講義をe-Learningで行うオンデマンド授業です。 ・講義の動画は、e-ALPSに掲載し、水曜日に公開します。 ・各回の授業で小テストを実施し、小テストの合計点で成績を評価します。					
(5)授業のキーワード	価値創造、持続可能性、マネジメント、マーケティング、イノベーション、人的資源管理、会計					
(6)授業計画	本授業は、マネジメント、マーケティング、イノベーション、人的資源管理、会計の5名の教員によるリレー形式の講義です。15週の講義は、以下の計画に基づいて行われます。 テーマ1：マネジメント（全3回：藤野義和） 本講義のガイダンスを行った後、企業経営の全体像について市場、組織、戦略、価値創造をキーワードとして考えていきます。 第1回 テーマ1-1：ガイダンス 第2回 テーマ1-2：企業と市場 第3回 テーマ1-2：戦略のマネジメントと価値創造 テーマ2：マーケティング（全3回：石橋敬介） 価値の創造は、社会のニーズに応えることで可能になります。顧客の創造が中心的な命題となるテーマ2では、顧客の立場で考えることの大切さについて考えます。 第4回 テーマ2-1：マーケティングのマネジメント 第5回 テーマ2-2：顧客を知り、価値を作る 第6回 テーマ2-3：価値を伝え、届ける テーマ3：イノベーション（全3回：橋本規之） 日常生活でもよく耳にするようになった「イノベーション（革新，新結合）」に注目して、社会的に有用な価値の創造について考えていきます。 第7回 テーマ3-1：イノベーションへの扉を開く 第8回 テーマ3-2：イノベーションと企業家 第9回 テーマ3-3：イノベーションのマネジメント テーマ4：人的資源管理（全3回：岩田一哲） 人的資源管理は、組織における人のマネジメントを取り扱う内容です。人のマネジメントにおける従来の考え方と、近年の考え方の両者を理解することで、組織における人のマネジメントに関する知識の体系化を試みます。 第10回 テーマ4-1：人的資源管理の仕組み 第11回 テーマ4-2：組織と人的資源管理 第12回 テーマ4-3：人的資源管理の多様化 テーマ5：会計（全3回：関利恵子） 会計の役割はビジネスの営みを記録・測定して、伝達することです。経営活動がどのように財務諸表と関連しているか、そしてそこからどのような企業の姿がみえてくるのかを学びます。 第13回 テーマ5-1：会計とは 第14回 テーマ5-2：財務諸表の仕組み 第15回 テーマ5-3：企業を分析するには 第15回を終了したら、授業アンケートに回答してください。					

(7)成績評価の方法	・各回の講義で複数回の小テストを行います。小テストの成績を積み上げて評価します。 ・小テストの回数については各教員の初回講義時に掲示します。
(8)成績評価の基準	各回の小テストの合計点により、成績を評価します。評価基準は、次の通りです。 秀： 授業の到達目標の水準からみて卓越している（合計点：90点以上） 優： 授業の到達目標の水準よりかなり上にある（合計点：80点以上、90点未満） 良： 授業の到達目標の水準よりやや上にある（合計点：70点以上、80点未満） 可： 授業の到達目標の水準にある（合計点：60点以上、70点未満） 60点未満の点数は、不可です。
(9)事前事後学習の内容	・この授業は、90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学修が必要となります。 ・日頃から経済や経営に関するニュースや新聞記事などに目を通し、理解を深めてください。 ・講義で扱ったテーマについては、講義で使用した教材や講義中に紹介された文献を参考にして、事例を研究するなどより深い学習が求められます。
(10)履修上の注意	・全ての資料は、e-ALPS上で配布します。 ・各回の小テストが受けられる期間は、授業の公開日（水曜日）から2週間（翌々週の火曜日まで）です。期間内に忘れずに小テストを受けるようにしてください。
(11)質問,相談への対応	講義内容に関する質問は、各テーマの担当教員が対応します。 基本的なやりとりは、電子メールで行います。アドレスは下記の通りです。 藤野義和：yoshikazufujino@shinshu-u.ac.jp 石橋敬介：k_ishibashi@shinshu-u.ac.jp 橋本規之：nhashimo@shinshu-u.ac.jp 岩田一哲：iwata@human.mie-u.ac.jp 関利恵子：seki@shinshu-u.ac.jp
(12)授業への出席	全ての授業をe-Learningで行う【EA】授業となります。e-ALPS上で公開される動画を視聴してください。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	e-ALPS上の授業の動画は、成績が確定されるまでは閲覧できるようにします。
【教科書】	指定しません。
【参考書】	講義中に適宜、紹介します。